

実の両親を「生みの親」とするならば、ゲームは「育ての親」。幾つもの素晴らしい作品によって、いつだって自分の人生は豊かに彩られてきた。

寝食さえ忘れられるほどの興奮や、生涯忘れられようもないほどの感動。苦勞と努力の末に困難を打破する達成感に、本気で挑んだからこそそのほろ苦い挫折。誰も見たことのない雄大な異世界を思うがまま駆け回る喜びも、小さな画面の前で肩を寄せ合って騒ぐ楽しさも、遠く離れた誰かと真剣に競い合う熱狂もすべて、教えてくれたのはゲームだった。

だから、今度は自分がゲームを通して、誰かの人生を明るく彩ってみたい。

そのような思いから、この度、ゲーム業界への転職を決意し、貴社を志望いたしました。